

認知症とともに班 活動報告

三重県作業療法士会では、①知識と技術の研鑽の場づくり、②OTが地域に出て活動するための仕組みづくりを目的に、2017年度から認知症作業療法推進委員会（現、認知症とともに班）が発足し活動している。2021年度から活動目標を「認知症フレンドリー社会を目指す」と掲げ、下記の活動を実施中である。2022年度も新型コロナウイルス感染症による対策として、活動をオンライン中心とし、認知症当事者や介護家族、他職種、OT県士会員のため、安全・安心の環境を整えたくらうで活動している。

① 認知症アップデート研修会

2021年度は県下の薬剤師と連携し、臨床で直ぐ活用できるよう「病院・地域で働いて感じる多職種との連携」「BPSDに対する薬物療法」「認知症のBPSDに対する非薬物療法の取り組み」についての研修会を開催。26名が参加し、グループワークでは他県士会員や他職種と活発な意見交換ができた。

② 認知症スキルアップ研修会

2021年度は三重県地域医療介護総合確保基金事業に提案し、採択された。「施策に基づいて創出されている地域の多様な資源・取組についての知識の普及」「地域生活を視野に入れた臨床支援を展開できるスキルの研鑽」「行政等と連携して地域の資源に参画し、専門性を発揮できるスキルの研鑽」を目的に、地域における認知症リハビリテーションの視点と地域における実践報告を実施。46名が参加し、地域につながる情報交換やグループワークを行った。

③ みえーる認知症 OT交流会 オンライン勉強会

2020年度から月1回オンラインを活用し、学習したこと、研究テーマ、事例検討、臨床での困りごと、伝達研修などについて、認知症とともに班メンバーが輪番制で発表・話題提供を行っている。2021年度は「行政療法士からの発信」をテーマに勉強会を開催。全国から60名の認知症OTが参加し、ともにスキルアップを行った。

Mission1: 知識と技術の研鑽の場づくり

認知症フレンドリー社会を目指す

Mission2: OTが地域に出て活動するための仕組み作り

④ 回想法を活用した地域づくり

2020年度から月1回「OTオンライン回想法勉強会」を開催し、2021年度は154名の参加があった。協働仲間づくりを行いながら、共に回想法を学び、リーダーの人材育成を図っている。その後、認知症カフェや回想法研修会の地域活動に繋がっている。回想法をツールに当事者を含めた地域づくりに活かしていく。

⑤ 認知症フレンドリー社会：買い物・スーパーに焦点を当てる

2021年度は北九州大学の仙波先生を招き「認知症フレンドリー社会について考える～誰もが買い物を楽しめる社会へ～」をテーマに特別講演を開催（16名の参加）。また認知症とともに班の取組紹介として、北勢地区から「他市町から学んだことと北勢地区の現状」、中勢地区から「認知症当事者と高齢者の買い物に関する現状と課題」、南勢地区から「地元スーパーとの情報交換会から得られたこと」を報告した。2022年度はOTの役割を探る・創ることを目的に、調査や関係機関との連携、仕組みづくり、研修会・報告会を開催予定である。

⑥ 関係機関との連携

- ・ 認知症の人と家族の会：OT2名が若年のつどいの世話人を担当（うち1名は代表）。アルツハイマーデー記念講演会ではスタッフとしてOT数名参加。
- ・ 三重県：2021年度よりOT2名がチューターとして県内市町におけるチームオレンジの発足・育成を支援。
- ・ 四日市市：2022年度より依頼のあった認知症カフェにOTを推薦し、運営支援。チラシ（OTの役割）作成。
- ・ メモリーカフェ'日永'：2016年度よりOT数名が参加。開催前・当日・終了後にOTの視点で関わっている。

2022.7.19 23:59まで お申し込みはコチラ! mie.ot.d.kaisouhou@gmail.com



四日市市の認知症カフェを運営される皆さまへ

作業療法士とは?

だれもが地域で豊かに生活するために 本人の「したいこと」「できること」を引き出し 楽しい場面、仕事、趣味、人とのかわり、自己効能感、役割などの活動を応援する専門職です

認知症カフェにかかわる作業療法士の役割 (本人の活動に関すること)

① 認知症の当事者や家族が安心して、コミュニケーション・アプローチが出来るように、本人の身体や生活環境への理解を促す
② 本人の思いや意欲を伸ばし、積極的な活動につなげるために提供できる様々な支援をする

(認知症カフェの機能に関すること)

① 認知症の当事者や家族が安心して、コミュニケーション・アプローチが出来るように、本人の身体や生活環境への理解を促す
② 本人の思いや意欲を伸ばし、積極的な活動につなげるために提供できる様々な支援をする

開催前	当日	終了後
・ 参加者や家族に合わせた認知症対応の研修 ・ スタッフ向けの研修、活動報告会 ・ オンライン研修 ・ オンライン研修に関する資料の提供	・ 回想法などのコミュニケーション・アプローチの活用 ・ 本人の主体的な参加、気づきや学び、活動の共有 ・ 共通の話題で場の一体感が生まれるよう、調整をする	・ 専門職の視点から、プログラム内容の検討、活動の場での個別支援や促進をする ・ 2ヶ月以上、3ヶ月以上実施する場にならざる、継続し続ける ・ 認知症カフェの役割を再確認する

ぜひ、認知症カフェで作業療法士をぜひ活用ください!

一般社団法人 三重県作業療法士会 四日市市認知症カフェ 認知症フレンドリー